

お金の使い道

()内は6,900人の村民一人当たり

関川中学校管理教室棟地震補強・大規模改造事業
 H18・1,499万円、H19・2億4,133万円
 (借金 1億4,380万円、国補助 9,816万円、その他 1,436万円)



議会費 6,292万円(9,119円)

- ・議員報酬費 3,731万円

総務費 5億1,125万円(74,094円)

- ・下関駅業務委託料 640万円
- ・路線バス運行補助金 1,996万円
- ・村づくり総合推進事業補助金 626万円
- ・大したもん蛇まつり補助金(新大蛇製作費含む) 580万円
- ・携帯電話中継局整備費 4,894万円
- ・衆議院議員選挙費 516万円
- ・広報無線費 297万円
- ・広報紙印刷費 361万円
- ・交通安全・防犯対策費 533万円

民生費 7億1,556万円(103,704円)

- ・灯油購入費助成 159万円
- ・村上地域シルバー人材センター負担金 236万円
- ・愛宕福祉会補助金 593万円
- ・ゆうあい管理費 1,004万円
- ・社会福祉協議会補助金 2,346万円
- ・地区敬老会補助金 250万円
- ・むつみ荘管理委託料 392万円
- ・はなみの里管理費 218万円
- ・児童館管理費 153万円
- ・老人保護措置費(やまゆり荘) 1,928万円
- ・地域生活支援事業委託料 1,350万円
- ・介護・訓練等給付費(障害者) 5,739万円

衛生費 2億8,562万円(41,394円)

- ・医療費助成事業費 1,027万円
- ・病院群輪番制病院運営費負担金 108万円
- ・集落健康づくり推進費補助金 121万円
- ・斎場管理費負担金 233万円
- ・ごみ処理対策費 9,098万円
- ・し尿処理負担金 1,740万円

農林水産業費 2億8,367万円(41,112円)

- ・農業連絡事務集落委託金 106万円
- ・農業委員報酬 347万円
- ・若ぶな高原牧場土地借上料 200万円



道の駅周辺整備事業 8,909万円
 (借金 8,890万円、その他 19万円)

- ・転作推進費補助金 1,157万円
- ・中山間地域等直接支払交付金 1,156万円
- ・国土調査事業費 889万円
- ・森林組合補助金 938万円
- ・ため池等整備事業負担金 535万円
- ・農業基盤整備事業補助金 356万円
- ・林道蛇喰・中束線整備事業 8,992万円

商工労働費 5億1,342万円(74,409円)

- ・荒川漁協本区・上流区補助金 200万円
- ・商工会補助金 648万円
- ・観光協会補助金 1,324万円
- ・スキー場対策費 1,647万円
- ・観光施設管理委託料 5,082万円
- ・ゆ〜む管理費 6,203万円

土木費 5億5,022万円(79,742円)

- ・道路除雪対策費 9,785万円
- ・道路維持・改良費 4,381万円

消防費 1億9,895万円(28,833円)

- ・消防団員報酬 1,283万円
- ・消防団費用弁償 289万円
- ・消防施設整備費 519万円
- ・広域消防負担金 1億5,497万円

教育費 6億2,608万円(90,736円)

- ・教育委員報酬 142万円
- ・スクールバス運行費 1,582万円
- ・外国語指導助手招致事業 393万円
- ・村民会館・ふるさと会館等維持管理費 1,663万円
- ・広域図書館等運営負担金 733万円
- ・国県文化財補修等補助金 193万円
- ・歴史とみちの館管理費 817万円
- ・ふれあいど〜む管理費 658万円

災害復旧費 227万円(329円)

公債費 8億4,971万円(123,146円)

合計 45億9,967万円(666,618円)

職員人件費も各費目に含んでいます。人件費については次号でお知らせします。

積立金と借金（一般会計と特別会計）

積立（基金）残高はおよそ19億円となっています。村では、将来のために目的に応じた積立を行なっていて、教育施設整備基金に4億2千万円、環境衛生施設整備基金に1億3千万円などで、全部で20種類ほどあります。

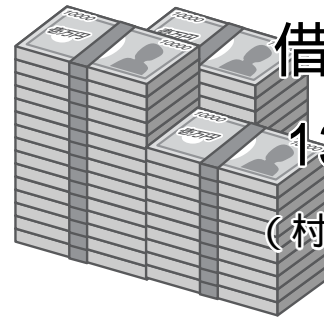
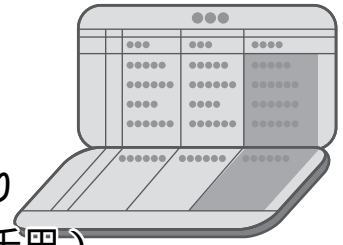
目的をもたず財政運営上必要なときに取り崩す財政調整基金には、平成19年度新たに2千500万円を積立して残高を5億円とし、将来に備えています。

一方、借金（起債）の残高は132億円あまりで、下水道整備によるものが61億円ほどです。金額は大きいですが、借金が村の財政の根幹を支えているのが現状です。残高のうち87.7%は元利償還金が地方交付税に含まれる有利なもので、将来負担を抑えています。

村では、少しでも将来の財政負担を軽くするため、過去に借りた高金利の借金を繰上償還したり、低金利のものに借り換えたりして、借金を返済。平成19年度は、地方交付税などを使って12億8千万円の元金を返しました。

積立金

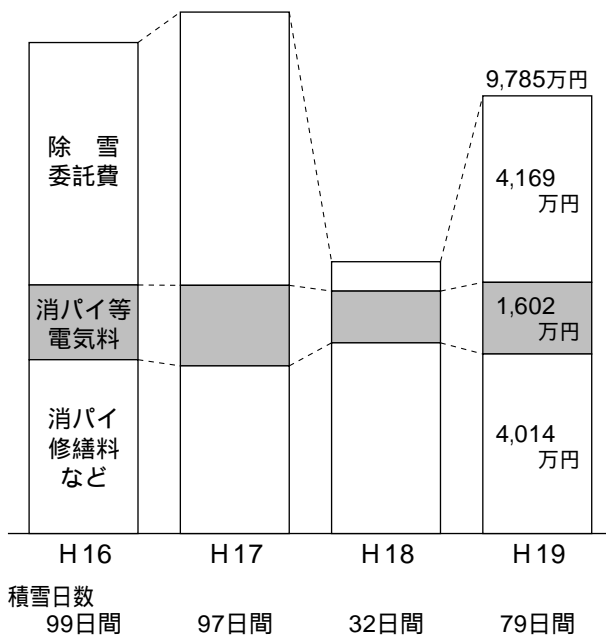
19億円
（村民一人当たり
27万5千円）



借金

132億4千万円
（村民一人当たり
191万8,900円）

道路除雪経費



除雪経費も大きな額

道路除雪には、毎年1億円前後の経費がかかっています。大雪だった平成19年度はおよそ9千700万円かかり、村の財政状況からみて、大きい金額です。

除雪作業委託費は降雪量などに比例します。しかし、消雪パイプ等の電気料は、少雪の年でもある程度の経費がかかります。村民の皆さんには、なお一層の節電にご協力をお願いします。

ごみの重さを減らして経費削減

ごみの処理には、およそ9千万円かかっています。その内、旧朝日村にあるごみ処理場の維持管理費の負担割合は、各市町村が持ち込む「ごみの重さ」で決まります。平成19年度の関川村分はおよそ2千100万円となりました。

生ごみは、可燃ごみの2割程度を占め、その半分は水分だといわれています。水分を減らすことで、重さが減り、経費の節減につながります。水切りをよくして水分を減らしましょう。

また、食べ残しや賞味期限切れなどによる処分もなくしたいものです。食べ物を粗末にしないことで、ごみの量も重さも減らすことができます。

ごみ処理費 9,098万円の内訳

焼却場の経費負担		ごみ収集費
維持管理費 2,096万円	施設建設の 借金返済 2,647万円	
		その他 138万円



除雪委託費は平成18年度に比べ、約6倍の経費となりました。